

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長 小池 誠	電話番号	0852-22-5345
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	しまねこども環境学習推進事業費		
目的	(1) 対象	こども	
	(2) 意図	島根県における次代の環境保全を担う人材を育成するため、体験学習等を通じて子どもたちの環境に配慮する意識を高める。	
事業概要	子どもたちが主体的に環境について考え、具体的に行動することを通じて環境意識を高めるよう、学校生活での自発的な取組を支援する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 学校における3R・適正処理学習支援事業実施校数	目標値		21.0	31.0	41.0	50.0	校
		取組目標値						
	式・定義 学校における3R・適正処理学習支援事業実施校数	実績値	11.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	6,955	11,798
うち一般財源 (千円)	260	260

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度の実施校は11。内訳は、中学校2、高等学校6、特別支援学校3。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

小・中・高・特別支援学校における環境教育の取組は、着実に広がっている。学校における3R・適正処理学習支援事業は、平成27年度からの新規事業であり、各学校に内容を知ってもらうため、取組事例を紹介するDVDを作成したり、課のHPで事業の説明等の情報発信を行った。市町村の教育委員会にも出向き、事業実施の協力を依頼。また、ヒアリングの結果、学校現場のニーズが把握でき、平成28年度からは対象を小学校にも拡充した。その結果、小学校6校の申請があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
平成27年度の実施校11の内訳は、中学校2校、高等学校6校、特別支援学校3校となっており、中学校の実施が少ない。また、高等学校の実施校のうち、普通高校の実施が少ない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
各学校では、学習すべき授業が決まっていますが、新しい授業を行う時間がないのが現状。また、キャリア教育の一環として、学校が行っている総合的学習の時間があるが、この事業の内容が浸透していないということもあり、授業に組み込みにくい。
- ③原因を解消するための「課題」
新年度の学習すべき授業は、旧年度の冬に概ね決まる為、新年度の事業募集を早い時期に実施する必要事業を実施した学校の様子を未実施校に伝える等、情報発信の強化学校にもメリットがあり、授業のねらいと一致するような提案が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

文書に加え、電話・メール・説明会等利用して、新年度の事業募集を早い時期から実施事業を実施した学校の取組事例を、小・中・高等学校別に、「モデル例」として紹介するなど、未実施の学校に関心を持ってもらえるような提案DVDの作成や、課のHPで情報発信

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。